

## 第1回 中札内村景観まちづくり委員会 会議録

日 時 令和元年11月12日(火) 19:00～21:10  
場 所 改善センター 1階会議室  
出席委員 金澤和彦、下埜智加、片山祐二、酒井麻子、遠藤圭一、中田洋介、歌野裕美  
欠席委員 保坂裕子、嶋崎陽介  
アドバイザー 斉藤浩二  
事務局 総務課長 川尻年和、総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二

### 議 事

開 会 19:00

(川尻課長) 本日はお忙しい中、第1回景観まちづくり委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。私は、役場総務課長の川尻でございます。事務局を担当いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。早速ですが、委員委嘱状の交付に移らせていただきます。

－ 委嘱状 交付 －

(川尻課長) ありがとうございます。以上をもちまして委嘱状の交付を終了させていただきます。それでは次に、開会にあたりまして、森田村長よりご挨拶申し上げます。

(森田村長) 本日は4期目となる景観まちづくり委員会の立ち上げで、引き続き委員として活動される方に加え新たに4名の方が委員となりました。みなさま2年間どうぞよろしくお願いいたします。ここからまた新たな視点を持って活動に取り組んでいただきたいと思います。本村の景観の取組というのは非常に歴史があり、昭和50年代から続いているものです。平成28年には、「日本で最も美しい村」連合に加盟し、自分たちのふるさとを良く知り、誇りを持てる村を目指しています。単に環境を綺麗にするだけでなく、心寄り添う美しい村づくりを進めていきたいと思っています。文化や健康など他分野と連携した活動も併せて期待しております。様々な立場の方からぜひ積極的なご意見をお願いするとともに、一歩進んだ活動を期待します。どうぞよろしくお願いいたします。

(川尻課長) 本日初めて顔を合わせた方もいらっしゃると思いますので、ここでみなさんに自己紹介をしていただきたいと思います。

－ 委員・事務局 自己紹介 －

(川尻課長) それでは、次第4の「景観まちづくり委員会の概要について」担当から説明願います。

－ 竹村主査 資料1に基づいて説明 －

(川尻課長) ただ今担当より説明がありました「景観まちづくり委員会の概要」について何かご質問等ございますか？

(委員) まちづくり委員会は他にどのようなものがあるのでしょうか。

(竹村主査) 男女共同参画推進委員会がございます。

(川尻課長) ほかに無いようですので、次に次第5の「景観アドバイザーについて」に入りたいと思います。

－ 斉藤アドバイザー 自己紹介 －

(川尻課長) 次に次第6「これまでの村の取組経過について」担当からお願いいたします。

－ 竹村主査 資料3に基づいて紹介 －

(川尻課長) ただ今担当より説明がありました「村の取組経過」について何かご質問等ございますか？

(川尻課長) 無いようですので、次第7の協議事項の①「会長・副会長の互選について」です。

－ 協議の結果、会長を金澤和彦さん、副会長を酒井麻子さんに決定 －

(川尻課長) それでは、会長・副会長に就任されたお二人からご挨拶をいただきたいと思います。

(会長) みなさん今期もよろしくお願いたします。景観の取り組みは、自分自身が意識して村民に先立って行動することが大切だと思っています。毎日ゴミ拾いをしていますが、自分たちでまちを守る、身近なところからはじめる行動が大切です。住んでいる人の心までも美しいものにしていけたらと思います。

(委員) 毎日仕事中等意識して街並みを見ており、気になった風景はイラストに残すことや、言葉にして記録しています。これが景観委員になって変わったところです。最近「世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか？」という本を読んで影響を受けました。良かったらみなさんも読んでみてください。どうぞよろしくお願いたします。

(川尻課長) それでは、この後の議事進行につきましては、金澤会長にお願いしたいと思います。  
よろしく願いいたします。

(会長) それでは、次第の協議事項②「今年度の進め方(案)」について事務局より説明をお願いいたします。

ー 竹村主査 資料4について説明 ー

(会長) 今、事務局から今年度の進め方について提案がありました。みなさんは今の提案についてどう感じられたでしょうか。意見や感想等をお聞かせください。

(会長) 次年度の進め方については、スケジュール、ロードマップを示すべきと考えております。2年間かけてどういうスケジュールでどこを目指すのか。こうした資料を次回の委員会までに示していただければと思います。

(委員) 美しい村連合とは何か今一つわかりません。もう少しPRしていったらと思います。

(会長) 連合は委員会が提案して加盟した組織です。村でお金を出して加盟しているものなので宣伝は必要でしょう。

小さいことからできてくると良いですね。住民のグループでやっている取組を景観委員会等でバックアップする方法もあるのではないのでしょうか。

(委員) 農業に従事している立場からいうと、防風林は畑に枝がかかってきて倒れてもおかしくないものもあります。景観として守っていく必要はあると思いますが、間伐などは必要に応じてやっていくことが大事だと思います。

(会長) 景観ツアーの3回目は「景観と農業(防風林)」というテーマで行いました。機械の大型化に伴う課題など様々な問題があることがわかりました。ただ、防風林は他の地域からみると大変珍しい景観でもあります。

(委員) 自然に惹かれて村に来ました。既にある村の自然がアドバンテージであると考えます。自然を残す方に力を注いでいきたいと思います。アスファルトや護岸工事はもったいないことだと思います。

(委員) ウォーキングや景観ツアー等は似たような人が参加しています。様々な人に参加してもらうことが課題だと思います。景観委員の取り組みは、あまり知られていません。住民参加型の取り組みを進めていってはどうかだと思います。

(委員) 以前、テレビで小学生が道の駅で町になぜ来たかをインタビューするという取り組みを紹介していました。直接村の良さを知る素晴らしい取り組みだと思います。

最近、東5線のゴミ拾いを始めました。クリーンデーに参加したことは非常に良かったです。横の連携はこれからも大事になると思います。

また、景観ツアーは自分が知らないと説明が難しいことから委員自ら実施すると勉強にもなります。

(会長) 景観ツアーの先にあるものがあると思います。やって終わりではもったいないです。

(委員) 毎回新しいものをやるのは大変なので、過去にやったものを再度行っても良いと思います。

(委員) 学校シーニックは、小学6年生の2コマを使って実施してきていますが、その場だけのものになっているように思います。親と話しあってもらえるような資料を作ってみてはと思います。

「ずっと残したい～」は応募者が固定化しているように思います。気楽に応募してもらえると良いと思います。また、バナーを再度復活してほしいです。

景観ツアーは、参加したくなるような企画が出来たら良いと思います。委員会だけではなく、委員の何人かだけでも集まって取り組めたら良いのではないのでしょうか。冬に歩くイベントがあっても良いと思います。

(会長) 小さな規模でも良いので継続的な取り組みが出来たら良いですね。心も体も健康にというすこやかウォーキングは良い事業であったと思います。

(齋藤アドバイザー) 酒井委員の言った様々な人が参加するための手法というのは永遠の課題であると思います。嫌いな人はまだ良いのですが、無関心な人をどうするかが難しい。村の人の意識、関心を高めることが大事ということで事業を実施しじわじわと効いてくることを求めてきました。結論は出ませんが考え続けることが大事だと思います。関心を持ってもらうためには当事者意識を持ってもらうことが必要です。ショック療法で最も厳しい景観条例を作るというのはどうでしょうか。景観は、私益ではなく公益であるため村内に波及します。

景観調査について村に提案していますが、住民の機運が高まったらということで調査が出来ておりません。私は、逆に村民の意識を高めるために調査をし、調査をすることだけが目的ではないと考えます。

以前、下埜委員が言っていた国道の街路樹の課題などは、景観委員長の名前で村に要望書を出したら良いと思います。委員会は、ただ意見を言う場ではなく村の施策について意見を出し合って提案していく場です。景観づくりを進めていくための手段のひとつです。何の目的でやっていくのかビジョンが今はありません。2年後に向け課を飛び越えても良いので小さな目標を立てたら良いと思います。

(会長) 色々なことを整理してやってきたつもりではありますが、客観的な視点というのは必要だと思っています。規模は違えども調査は実施する方向で進めたいと思います。

(会 長) それでは、第1回の委員会についてはこれで終了したいと思います。  
みなさん、大変お疲れ様でした。

閉 会 21 : 10